

広報

かわいし

NO. 513

平成13年5月10日

NHK新潟放送局 開局70周年

祝 川西町誕生45周年記念



魅惑のステージに ため息



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行・編集 川西町役場総務課 E-Mail: kawanisi@mail.tiala.or.jp (毎月10日発行)
URL <http://www.town.kawanishi.niigata.jp/>

人口の動き

— 5月1日現在 —
男 4,095 (－ 6)
女 4,191 (＋ 3)
計 8,286 (－ 3)
世帯数 2,297 (＋ 7)
() は前月比較

名前を呼ばれて
元気に「ハイ」



仙田小学校／新入生6名



橘小学校／新入生19名

“うれしはずかし”
視線をひとりじめ



上野小学校／新入生13名



千手小学校／新入生38名

“みつめるまなざし”は
真剣そのもの



川西中学校／新入生84名

フォト散歩

四月五日(木)、町内の小中学校で一斉に入学式が行われました。各学校とも、特色を生かした演出で新入生を迎え入れ、初々しい新入生も個性が光っていました。今回はその一部を紹介します。

◆表紙の写真◆

4月27日(金)夜、総合体育館で、NHKラジオ公開番組「ひるの散歩道」の公開録音が行われました。

川西町誕生45周年と、NHK新潟放送局開局70周年を記念して開催されたこの催しは、ゲストとして歌手の牧村三枝子、神野美伽、鏡五郎、西方裕之を迎え、バックバンドは三原綱木とザ・ニューブリードという豪華な顔ぶれとなりました。

NHK新潟放送局の與芝由三栄アナウンサーのさわやかな司会進行も相まって、会場を埋めた約800人の観衆は、春の夜の歌の宴に酔いしれていました。

—contents— 目次 —contents—

..... P 2

⇒表紙の写真／目次／フォト散歩

..... P 3

⇒特集＜もう外では火が燃やせない！？＞

..... P 4～7

⇒成人おめでとう！（成人式の模様）

..... P 8～9

⇒—topics— まちの話題

..... P10.....

⇒行政改革大綱／ズームアップ役場

..... P11.....

⇒おらムラの話（新連載）

..... P12～13.....

⇒千手温泉／生涯学習だより／お知らせ

..... P14.....

⇒里創プラン通信／イベント大賞受賞

..... P15.....

⇒善意／俳壇／くらしとけんこう ほか

..... P16.....

⇒戸籍の窓／ちいさな展覧会 ほか

特集

もう外では火が燃やせない!?

四月一日から、循環型社会の実現を目的とした「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(一般に「廃棄物処理法」と呼ばれています)の改正法が施行され、原則的に廃棄物の焼却(野焼き)ができなくなりました。しかし、農村では昔からの習慣や、庭の手入れや農作業に伴うたき火等がごく身近に続けられてきました。この法律では、そうした行為を例外的に認めています。具体的にどこからが禁止行為で、どの程度の「とまでがゆるされるのか」がよくわからないところもあります。環境の担当に聞いてみました。

廃棄物とは?

Q 廃棄物処理法の「廃棄物」とは、そもそもどういうものを指すのですか?

A 廃棄物とは、「不要になったものすべて」つまり、産業廃棄物はもちろん、家庭ゴミや建材くずなどのほか、木の枝や稲わら、農業資材、農作物の枯れ茎なども含まれます。

何が燃やせないの?

Q 今回の改正で何が決められたのですか?

A 廃棄物を野焼きすることが原則的にできなくなりました。つまり、今までドラム缶や家庭用焼却炉でゴミを燃やしていたり、

外でまとめて燃やしていたりしたものは禁止となりました。

Q 燃やしてもいい焼却炉はないんですか?

A 環境省令で定める厳しい基準に適合した構造の焼却炉であれば燃やすことができますが、今のところとても高価なもので、一般的ではないでしょう。

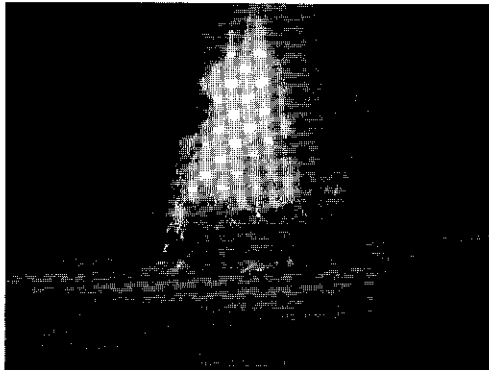
Q 今まで燃やしていたものはどうすればいいんですか?

A 土に還るものはなるべく土に還し、できないものや環境汚染のおそれがあるものは、分別してゴミステーションに出すか、専門業者に引き取ってもらうってください。

罰則も厳しい?

Q 違反すると罰せられるのですか?

A 三年以下の懲役または三百万円以下の罰金刑に処せられます。これまでの罰則規定よりはるかに厳しくなりました。



伝統行事の火は消えない!?

行事でもだめなの?

Q このあたりでは、昔から火をたく習慣や行事が多くあったのですが、そういうものまで禁止になったのですか?

A 例外として、次の場合は野焼きをすることが認められています。

- ① 河川やダムなど公共施設の管理者による、その施設の管理のために伐採した草木の焼却。
- ② 災害時の木くずの焼却や、凍結・霜害防止のための稲わらなどの焼却。
- ③ さいの神や祭り、キャンプファイヤーなどの行事で行うたき火、焼き芋づくりなどに伴う落ち葉等の焼却。
- ④ 農作物の残骸の焼却や、くんたん焼きなどの焼却。
- ⑤ 冬囲い等の板くずや、縄くず、庭木の剪定枝や落ち葉などの軽微な焼却。

豆がらは燃やせる?

Q そうすると、きゅうりやなす、芋、豆などの茎やつる、杉葉などを畑で燃やすことはできるんですね?

A そうです。ただし、たき火の規模はあくまでも「軽微」なものに限られます。なるべくなら畑の

ものは土に還しましょう。

また、畑でのたき火では、農作物の残骸や落ち葉に限りません。マルチシートなどを燃やすことは絶対にしないでください。大気汚染と同時に、畑の土が深刻な汚染土壌になってしまいます。

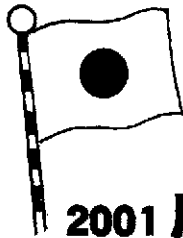
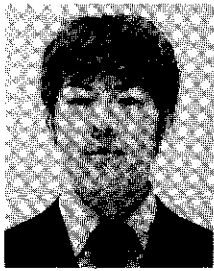
(マルチシートは、農協の回収時に引き取ってもらいましょう)

Q あと、行事やイベントでのたき火も認められるんですか?

A そうですが、他の迷惑にならない範囲で、という条件つきです。また、催事等でたき火をする場合で、煙や炎が大きくなる場合は、所轄の消防署に「火災とまぎらわしい煙または火災を発するおそれのある行為の届出」というものをしてなければなりません。

Q ありがとうございます。最後につけ加えることがありましたらお願いします。

A 今回の法改正は、ただ単に規制を強化したというのではなく、地球温暖化やダイオキシンの代表される環境汚染物質の流失問題が、「待ったなし」の状態にあるということを意味しています。地球人のひとりとして、ご協力をお願いします。



成人おめでとう!

2001 成人式 5月3日 / 総合体育館



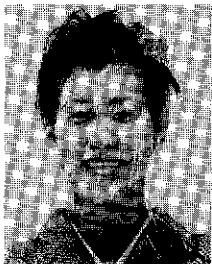
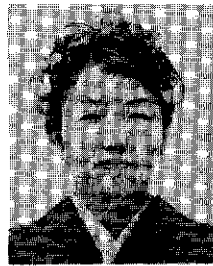
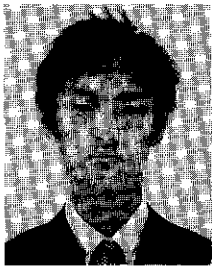
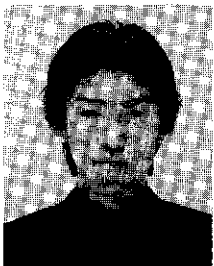
成人を代表して「誓いの言葉」を述べる田村潔さん

今年、成人を迎えられた方は、一九八〇年（昭和五五）四月一日から一九八一年（昭和五六）四月一日までに生まれた男子五十九人、女子六十一人、合計百二十人です。

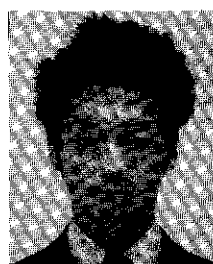
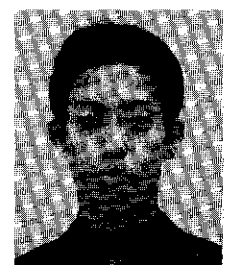
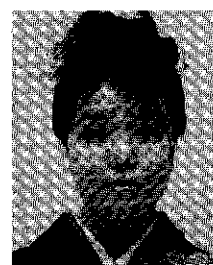
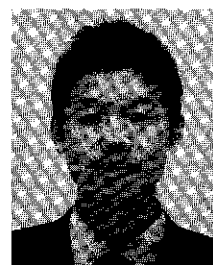
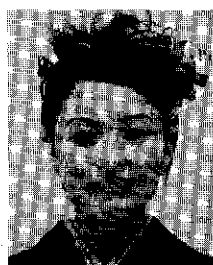
このうち、九十二人が成人式に出席されました。

ちなみに、二十年前の同じ日に成人を迎えられた方は二百五人でした。新成人が生まれた年の町の主なできごととしては、町史編さん事業のスタート、千手小学校体育館の改築、最高積雪が四二・五cmに達した五六豪雪などがありました。

五月三日の成人式に参加され、撮影にご協力をいただいた方を紹介します。



成人を代表して小海教育長（左）から記念品を受け取る中島隆さん

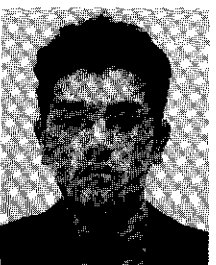
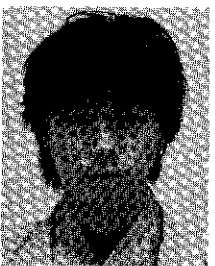
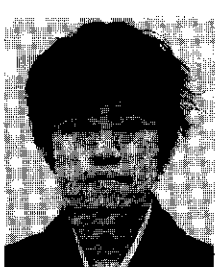
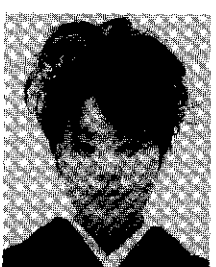
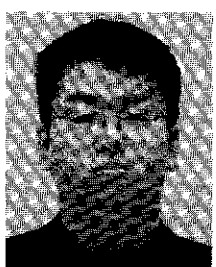
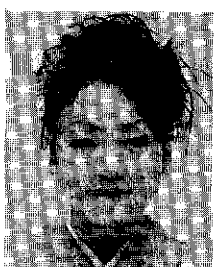
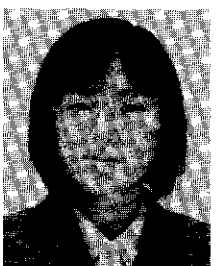
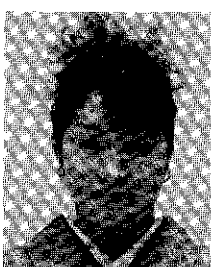
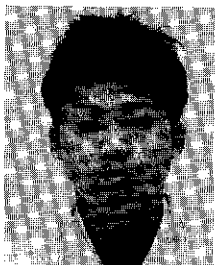
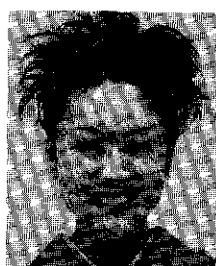
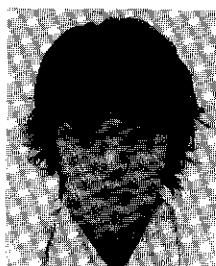


祝 成 人

「自分を理解してくれる友を持って」
と新成人を激励

成人者へのはなむけの言葉

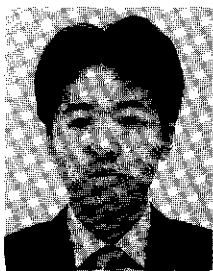
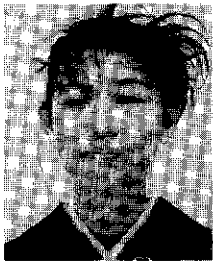
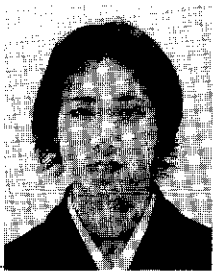
元 川西中学校学生主任
大津 和子さん



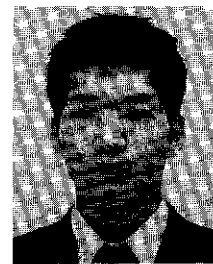
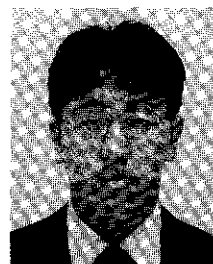
色鮮やかな振袖をまとい、
今日はちょっぴりおしとやかに……



式を終え、友達同士で写真を撮りあう成人の皆さん



あちらこちらで、ハイビース



(順不同・敬称略)

■千手地区

中島町 丸山 亮

中島 瞳

星 奈緒子

山野田 北村公太郎

高橋 智士

高橋 久美子

丸山 学美

内山 鉄兵

登坂 亮祐

富井 敦史

丸山 涉

高橋 るみ

保坂 美雪

保坂 優海

朝日町 齊藤 保

田中 一気

根津 正樹

平澤 克広

佐藤 真美

南雲 裕子

宮 怜奈

四郎兼 平野 宗隆

平野 千秋

東善寺 小野塚 崇

柳 昌光

上町 小野塚 辰徳

田中町 野上 幹規

小野塚 梨恵

美咲町 野上 真理子

神社町 高橋 勉美

学校町 相崎 政憲

高橋 徹

清水 美江

数藤 千織

寺 尾 清水 一樹

能代 谷光生

清水 由喜

木 島 清水 優

高橋 隼佑

山岸 大祐

岩田 幸恵

小林 彩

小林 真由美

星 名 泉

丸山 陽子

沖 立 相崎 泰行

柄澤 夏紀

数藤 佐和子

星 名 陽子

窪田 明香

窪田 良人

伊 友 窪田 明香

門脇 真佐美

高 原 田 佐藤 正人

田村 潔

柄澤 千鶴

村山 ゆかり

坪 山 中林 朝美

高橋 幸江

霜 条 小海 絵理

山岸 さつき

光の館に喜有の元気人が集合！

4月13日(金)、光の館(中子台地)が熱く輝いていました。

第1回大地の芸術祭が終わって半年が経ち、そろそろ第2回の芸術祭をどういう形で進めたらいいのかを、住民レベルで考えていこうという趣旨で広域から約30人の有志が集まりました。

第1回の集まりは、2月に松代町でおこなわれ、この日が2回目の会合で、「もてなし」というテーマでそれぞれの体験や思いを語り合いました。

この会の発起人のひとりで、松代町からのある参加者は、「芸術祭の『芸術』を議論するからわけがわからなくなってしまう。われわれ住民は、単純に芸術というみこしのある『祭』にとらえた方がわかりやすい。」と持論を展開。そして、「第2回を成功させるためには、広域6市町村の住民が、きちんとつながって行動を起こしていかなければならない。」と熱っぽく参加者と語り合っていました。

ところで今回の集まりは、ひとり一品持ち寄りで、ちょっとした郷土料理パーティのような趣がありましたが、開け放った夜空の幻想的な世界と、光のお風呂も体験できるとあって、参加者からはとても好評のようでした。

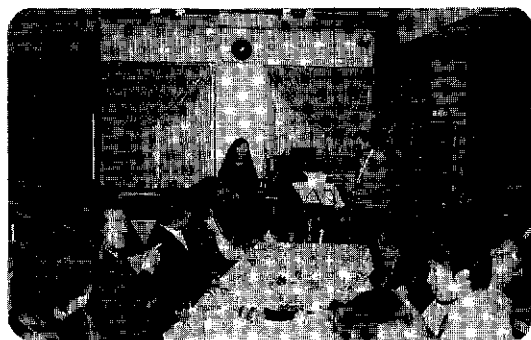
「こういう使い方もできる、ということを知ってほしかった」という参加者のひとは、思惑どおりの参加者の反応に満足そうに笑っていました。



夜おそくまで活発な意見が交わされました

TOPICS まちの話題 TOPICS

TOPICS まちの話題 TOPICS



この日は総合センターがジャズホールに変身

ジャズナイトで響を呼ぶ
四月七日(金)夜、総合センターから、魅惑的なジャズサウンドが流れ出ていました。
この住民有志の企画によるジャズコンサートには、内外から約六十人の観客が訪れ、都会的なジャズサウンドに浸っていました。
会場には、カクテルバーも設けられ、一週間猛特訓したという地元パーテーターの腕前に酔いしれていたひともしとが…。
企画した奥平百合さん(光の館運営スタッフ)は、「自分の思い通りに、たくさんの人たちが後押ししてくれたおかげでここまでできました。これからも、いい仲間づくりの場をつくっていきなす。」と、早くも次回の企画を練っているようでした。

バリアフリー対応、駐車スペース確保も十分で、ゆったりとした気分が訪れることができます。
オンラインシステムも充実し、これまでの貯金の払い戻しだけでなく、預入も、振替の払い込みも自動でできるようになりました。
陽あたり抜群の新局舎に、ひなたぼっこがてら出かけてみるのもいいかもしれませんね。

上野郵便局が新築オープン
国道二五三号と県道の交差点付近にあった上野郵便局(中川喜一局長)が、上野小学校の北側に新築オープンしました。
今までの局舎が手狭になったことや、国道の交差点改良工事が予定されていることから、現在の場所に移転したもので、木造平屋建て、建築面積約百二十平方メートルで、これまでの約二倍の広さがあります。
バリアフリー対応、駐車スペース確保も十分で、ゆったりとした気分が訪れることができます。

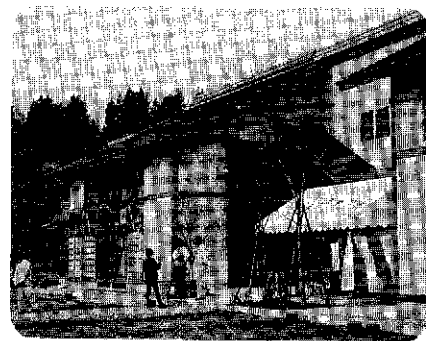


新局舎はゆったりスペース



「あそこに、あれ植えようよ」
花のプランづくりは楽しい

花のアートで話の花も…
四月二十二日(日)川西町地域活性化センターで、第二回花のアート講習会が開かれました。
これは、新世紀かわにし創造事業の一環で行われているもので、今年度から「花のアートコンクール」を実施することから、花のプランづくりや実際の花づくりに役立ててもらおうと、三回シリーズで町が実施しているもの。
今回は、約二十人の参加者が、花壇や家の前、畑など思い思いの場所に、どんな花をどんな形で配置していったらいいのを実際に略図にかいてプランニングし、講師の指導を受けていました。
参加者の間では「花のプランはなかなか進まなくても、話の花はいつばい咲いた」とか…。
役場開発課では、「講習会には誰でも参加できますので、今からでも申し込んでください。」と参加を呼びかけています。



完成した仙田体験交流館

仙田体験交流館お披露目

中仙田地区内に建設中だった仙田体験交流館がこのほど完成し、四月十四日(土)と十五日(日)の二日間、一般に公開されました。

この施設は、仙田地域の振興を図るために、農水省の中山間地域総合整備事業を導入して平成九年度から約九億円をかけて進めてきた事業の中核となるものです。

交流館は、木造平屋建て、建築面積約四百九十平方メートル、体験工房、調理実習室、コミュニティホール、大小の会議室等からなっていて、建築費は約一億四千五百万円、木組を見せる吹き抜け構造や、障子を多く用いた採光など、伝統的民家の間取りや特徴をふんだんに取り入れた構造になっています。

見学に訪れた参加者のひとり「各部署が意外なところまでつながっているように、まるで忍者屋敷のようだが面白いですね」と感想を語っていました。

また、交流館の裏手には、九百六十六平方メートル(小学校の教室の約五、三杯分)もの雪を貯めることができる雪室あり、最大の目玉となっています。雪室は、野菜やコシヒカリ等を貯蔵するほか、体験交流館の雪冷房の機能も果たします。

この施設の管理運営は、仙田地域交流施設管理組合(高橋幸一組合長)が行い、農産物加工品の販売や、都市住民との交流事業などを実施する予定です。

十五日には、農産物の加工や販売を行うための利用者協議会(六十八人の会員と五団体で構成)が設立され、中仙田の小林勝國さんが会長に選出されました。

また、交流館とその周辺は、昨年八月に道の駅「瀬替えの郷せん」だとしても指定されており、今後整備が進められる野外ステージなどを含めたオープンな、七月十



明るい雰囲気交流館内部

五日(日)に予定しています。

そのオープニングイベントの企画は、管理組合事務局を中心に、仙田地区の若い人たちが連日のように集まって練り上げています。どんなイベントになるのか、今から楽しみです。

医療環境がさらに充実

十日町市で開業していた富田医院が、川西町上新井地内(発電所通り西)に、医療法人 社団富田医院として移転開業されました。

駐車場の必要性や地域内の医療のバランスから現在の場所への移転を決められたということです。

これによって、川西町の医療環境はさらに充実し、地域にとって明朗報となっています。

診療には、院長の富田浩氏と父の三郎氏があたられ、診療科と診療受付時間は次のとおりです。

●診療科

内科、外科、胃腸科、皮膚科、リハビリテーション科
ほか内視鏡検査も実施

●診療受付時間

午前八時三十分～十二時三十分
午後二時～五時三十分
ただし、木曜日と土曜日は、十二時三十分まで
☎六二〇二二〇〇

TOPICS まちの話題 TOPICS

TOPICS まちの話題 TOPICS

ニュータイプの予算書誕生

町の予算書というと、これまではカタい事務的なものが通常でしたが、今年度あらたに、『まちの予算書』と題して、写真やイラストを交えた一般向けのものも作成しました。

内容も、数字の羅列といった無味乾燥なものではなく、事業内容や目的などをわかりやすく文章化したものになっています。

この予算書は、今後、各戸に回覧した後、集会施設や金融機関などに備え付けておく予定ですが、希望者(町民)には残部数の範囲で、無償で分けてくれるようです。(担当:総務課財政係)

これを読めばあなたも、町の金庫番になれる、かも…。

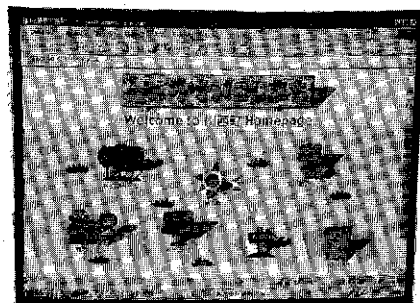
町のホームページ開設

川西町のホームページがこのほど開設されました。

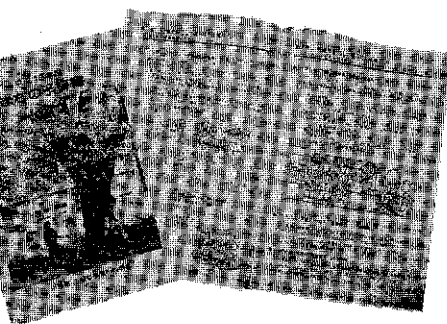
特集や、町のみどころ、町のくらしなどからなっていて、町外のひとからも、町内のひとからも楽しんで見ていただける内容になっています。結構見ごたえがありますので、ぜひご覧ください。

アドレスは以下のとおりです。

<http://www.town.kawanishi.niigata.jp>



川西町ホームページのトップページ



わかりやすくまとめられた『まちの予算書』

川西町行政改革大綱のあらまし

住民主体のまちづくりを目指して

川西町行政改革大綱が策定されたことについては、四月号でお知らせしましたが、今回は、改革のポイントについて紹介します。

■住民自治の確立に向けた行政展開

地方分権により、これまで以上に住民の「権利」と「義務」を明確に周知し、理解を求めていくとともに、行政の原点である「住民自治の確立」を中心に据え、住民自ら考え実行するような事業展開等に積極的に取り組みます。

また、行政は情報公開制度を柱に、各種情報を正確かつ迅速にお知らせし、開かれた行政執行に努めます。

■時代に即応した組織機構の見直し

新たな行政課題に対応するためには、常に役場組織機構の見直しが必要であり、時代に即応した組織に再編成をしていかなければなりません。

そのためには、役場の課等内部組織のみならず、保育所施設の統廃合や、施設の管理運営の民間委託などにより組織のスリム化を図りながら、住民ニーズにあった行

政サービスが展開できる組織や機構に見直しします。



また、町内には数多くの地域団体が存在し、それぞれが多様な地域の役割を分担しています。

しかし、近年は住民生活の多様化や地域社会の変貌から、特に住民自治の基盤である集落や町内会の弱体化が懸念されています。

分権型社会の中で健全な住民自治を保持するためにも、各種地域団体の自立・自主的活動の展開を尊重しつつ、行政は更なる側面的支援を推進します。

■定員管理の適正化と職員教育

変革の時代にあつて、行政需要はますます多様化かつ複雑化しています。

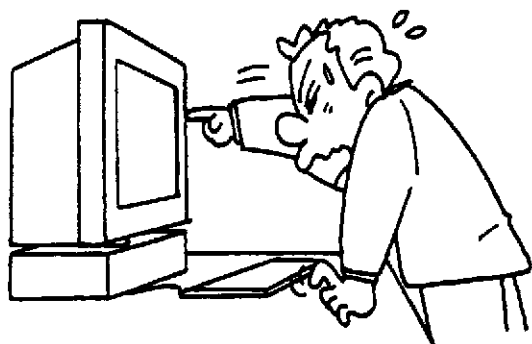
このような中、限られた職員で住民ニーズに対応するために、町では、今後さらに皆さんの協力を得ながら組織機構を見直し、施設

の統廃合、事務のIT化、業務の民間委託等を計画的に実施し、適正な定員管理に努めます。

地方分権がスタートし、自治体経営も競争の時代です。限られた職員で増大する一方の行政需要に対処するため、職員間研修、職員の自己研修制度の確立や、人事交流（県と町、民間と町、市町村間）を実施し、政策形成能力や問題解決能力の向上など、職員教育に努めます。

行政改革は、計画内容はもちろん、その進捗管理が最も大切です。改革の実施に向けて全力で取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、ここに掲載した内容はごく一部ですので、行政改革大綱の全文をご覧になりたい方は、役場総務課までお申し出ください。



スームアップ役場 No.1

「役場ってなんか行きづらい」「あんなで何やってらんだべ」「そんな声に少しお答えできるかもしれない？コーナーを設けました。

新年度スタート！

田口町長の訓示に緊張走る



田口町長から辞令書を受ける新採用職員緊張の一瞬！

四月二日から平成十三年度の町の業務が始まりました。

役場では、午前九時から辞令交付式が行われ、新採用職員をはじめ、異動のあった職員に田口町長から辞令書が手渡されました。

これは、毎年度当初に行われているもので、ひとりひとりの職務と組織のあり方を明確にし、責任を持って行動する役場職員の自覚を促すための大事な儀式です。

このあと、全職員に対して町長から次のような訓示がありました。一、職務外でも地域の活動に積極的に参加してほしい。

二、ボランティア活動に関わって住民とふれあってほしい。
三、指示待ちをするのではなく、自ら企画・実践する職員であってほしい。
四、年功序列の時代は終わったものと自覚してほしい。

このとき、会場全体に新鮮な緊張感が走ったことは言うまでもありません。

ある職員は「まるで俺のこのようだった」と感想を述べていたが、「耳が痛い！」と思ったのか、「我が意を得たり！」と感じたのかは定かではありません。きっと、両方だったんでしょう。

緑の羽根に全財産を？

四月十二日、緑の羽根募金運動に、緑の少年団（上野小学校五、六年生）が役場を訪問しました。「お願いします！」という元気のいい声に、ありったけの小銭を箱に入れる職員もいました。募金は五月末まで続けられます。



募金活動に役場を訪れた緑の少年団

おらムラの話 (第一回)

上野 上村 政基

千手新田のムラムラ

現在の川西町役場を中心とする町並みは、正式な地籍に載っている大字が細かく入り組んでいて、よその人にはとても見当がつかない。だから、通俗的に付けられた上町・中央町という方が、わかりやすいといわれている。

また、おもしろいことに、川西町で「千手」という正式地名を探しても見つからないというのを知っている人が、どのくらいあるだろう。また、「千手新田」についても同じことである。

明治二十二年に町村制が施行されて、はじめて「千手町村」が発足した。そして、チョンマゲ時代(近世)の旧村が、大字に区画されて地籍に登録された。

どこの村々でも、古いムラはひとつにまとまって集落をつくっていたから、大字と呼ばれたところで昔と変わりが出てくるわけでもなく、特段の差し支えを生ずることがなかった。

ところが、いわゆる千手の中央地域では、まとまった集落がなく、一軒一軒が本村からてんでんばらばらに出てきて、勝手に落着いたというムラの成り立ちを見

せていた。

現在の県道が通っているところは、水利がないので田んぼを開くことができず、灌木が生え茂っているままに放置されていた荒野であった。そこへ、周辺のムラから個人的に出てきた人たちが、まず畑をポチポチ掘り起こして、家を建てるようになった。

西の山すそに始まった水口沢から出てきた家の隣に、沖立からあがったものが家を作った。また上新井から出た家に並んで、中屋敷の二、三男が居付いた。そしてその一軒二軒の家は、それぞれの母村を背負って一本立ちの農家の資格を与えてもらった。

だから、母村を背負った立場であるということが、明治の新村編成の際にそのまま大字として繰

り入れられ、たとい隣同志であっても大字はマチマチであるという結果を招いてしまったわけである。延享四年(一七四七)に作ったという絵図が残っている。

南側の加左衛門川(東善寺の十王堂傍)から、北は三昧川(さんまいがわ、白南風社傍)までを一括して「千手新田」と呼び、次の村々に所属する家がビッシリと道の両側に軒を連ねている。

白河領	水口沢から	三〇
同	中屋敷から	二六
会津領	上新井から	九
白河領	山野田から	二
会津領	沖立から	一
白河領	東善寺から	六
会津領	宗正から	一
出身不明		三
(計)		七八

母村である村々には、それぞれ庄屋がいて全体をまとめ、前々からの村極めを守って毎日の生活が続けられていた。

それどころの話でなく、右に掲げたように領主も白河・会津藩と別々であるから、とてもひとつにまとめて扱うわけにはいかない。しかし、すでに村々が連合して千手市が毎年おこなわれており、真ん中を六メートル幅の広い道路が走っているという、川西郷一番の街区であるから、行政区分の話は別として、便宜上から千手新田と呼ぶことにしていた。

元町は本町か?

千手の中央街区と同じように、県道沿いの上野もまた、西の山すそにあった村から出てきたところである。

千手の入り組んだ大字とは違って、昔は上野村役場があったし、学校・郵便局・農協などがあつたのである。『大字上野はここである』という話はわかりやすい。

しかし、旧上野村の本来本元は「元町(もとまち)」である。西の山すそ沿いに、すでに中世のころには村が成立していたものと見られており、節黒城には南北朝時代の伝承があり、永正三年(一五〇六)の上野氏に関する文書もある。

また、信濃川西岸を過ぎる道は市川通りとも善光寺西街道とも呼ばれて、信州と結ぶ重要な役割を持っていた。

いずれも、現在の元町に直接つながるものである。

大昔のこと、稲を植えつけるのは、谷を流れてくる沢水の周辺ではじめられたし、泥深い湿地を選んで行われた。水路を掘って水を引き、開田を進めるのは、ずっと後になってからのことである。

水を引いて荒野を開き、やがて新しい村づくりが始まる。

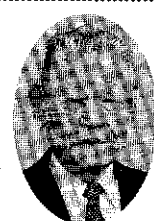
仙田へ向かう現国道の傍らに農家の堤があつた。明治三十五年ごろに築造された貯水池であるが、

掘削工事の折りに近世の住居跡がいくつも出たと語られているし、現在の元町は、十一軒衆が草分けだと伝えられている。

いずれも元町から出た人たちであるのに、その後の発展が新しい上野に集中したためか、母村の呼び名が傍らへ寄せられてしまった。むかしは、「本町村」と書いた古文書まであるというのに――。

ちなみに、大字上野の地番には甲・乙が付けられている。甲は古くからの上野村(上野・元町)で、乙は明治初年に合併した祖師村の分、昭和三十年代の基盤整備でできた新区画は甲乙なしである。

今月号から、「おらムラの話」と題して、町内の地名や古い道、旧跡や伝説などについて、その由来やエピソードを織り交ぜながら紹介していきます。



執筆者の上村 政基さんは、「川西町史」の編さんや、文化財保護の分野に長年携わってこられ、郷土史研究の一線でご活躍中です。

「肩の凝らない身近な話にした」と張り切っておられますので、ご期待ください。

川西町議会議員選挙

投票日は **8月12日(日)**です

■連絡先
十日町地域衛生施設組合
☎52-3924
十日町地域斎場
☎57-5213

見学を希望される方は左記までご連絡ください。
なお、見学する日は利用者の少ない「友引」の日をお願いしたいと考えています。

新しい火葬場見学
「希望の方へ」
触媒装置を採用し、無煙、無臭、無塵化を図るなど、公害に配慮し、最新技術を備えた新しい火葬場「十日町地域斎場」が4月1日に開場しました。

新しい火葬場見学
「希望の方へ」

第3回花のアート講習会開催!

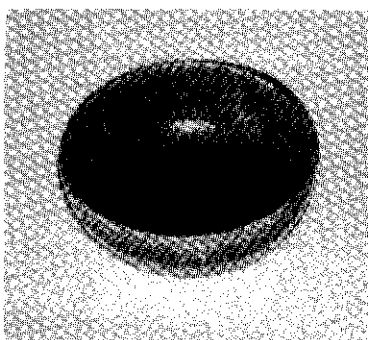
1. 日 時 6月3日(日) 午後2時～
2. 場 所 未定(参加者へ後日通知します)
3. 内 容 ハンギングバスケット作製(お持ち帰りできます!!)
4. 募集人員 先着10人程度
5. 参加費・準備品 1人 1,000円・軍手、手スコップ
6. 申し込み 役場開発課 ☎68-3111(内線311)
7. その他 第1回～2回においてすでに申し込みをされている方は申し込みは不要です。

工事中には、大型車両の出入りや多少の振動などで近隣の皆様方にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解の上ご協力お願い申し上げます。



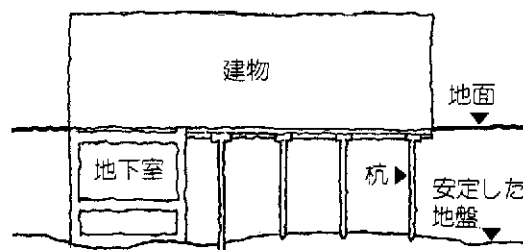
機械室の基礎工事

長い冬の間に、雪に覆われた地面から様々な生命の息吹が一斉に吹きだして、待ち焦がれた春が訪れました。現場の片隅にも、つくしがたくさん顔を出しています。
現在、現場では地下機械室の床が、一階まで建ち上がってきました。同時に、平屋建て部分の基礎工事も始まりました。この部分の基礎は、約六メートルの鋼管杭を打ち込み、建物の荷重を地下の安定した地盤に伝えて支えます。今、回使用する杭は、先端に羽(スクリュー)が付いているものを地面にねじ込んでいく方式で、できるだけ振動や騒音が出ない工法を選んでいます。



工事現場の粘土から生まれた焼物

現場の粘土から、焼き物が誕生しました。
赤谷にお住まいの藤井さんが現場の粘土を持ち帰り作られた作品です。
釉薬のかかっていない部分は、とても温かい土の色となっています。



杭工事断面イメージ図

工事現場からの報告 No.2

新しい千手温泉は、どんな建物?

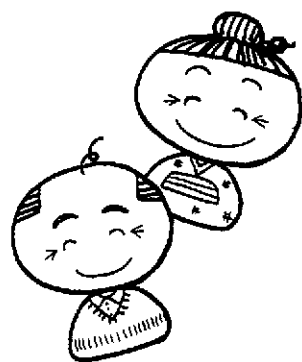
田口町長から記念品を受け取る数藤さんとひ孫さん



数藤さんに上寿の祝い品を贈る

四月三日、数藤寅治さん(沖立)に上寿(百歳)のお祝い品が贈られました。数藤さんは、明治三十四年四月三日のお生まれで、町の長寿者の中で二番目となります。町で上寿を迎える男性は、数藤さんが初めてとなりました。
九十六歳まで続けたゲートボールは、数藤さんの元気の源。何よりも大好きだったそうで、数々の賞状がそれを物語っていました。お顔にもつやがあり、とてもお元気です。食事一人でも何でも食べ

ることができ、毎週通っているデイサービスの入浴をととても楽しみにしておられます。
数藤さんのお宅は、六人家族。おじやましたときは、今年小学一年生になったひ孫さんがベッドを起こしてあげる、ほほ笑ましい姿をうかがうことができました。



長い冬の間に、雪に覆われた地面から様々な生命の息吹が一斉に吹きだして、待ち焦がれた春が訪れました。現場の片隅にも、つくしがたくさん顔を出しています。

現在、現場では地下機械室の床が、一階まで建ち上がってきました。同時に、平屋建て部分の基礎工事も始まりました。この部分の基礎は、約六メートルの鋼管杭を打ち込み、建物の荷重を地下の安定した地盤に伝えて支えます。今、回使用する杭は、先端に羽(スクリュー)が付いているものを地面にねじ込んでいく方式で、できるだけ振動や騒音が出ない工法を選んでいます。

広報紙を「聴いて」みませんか？

ボランティアグループ『虹の会』では、視覚に障害のある方のために、毎月『広報かわにし』をテープに吹き込み、聴いていただいています。

ご自宅で長期療養されている方や興味のある方は、この機会にお申し込みください。

★申し込み先 社会福祉協議会・朗読ボランティア『虹の会』

☎68-4647

霧谷埋立処分場の開場と持ち込みについてのお願い

一般廃棄物最終処分場霧谷埋立地は、5月14日(月)から開場します。

搬入路は、町道田中藤沢線(通称長福寺沢線)になります。

国道252号線越ヶ沢トンネル(中仙田)を超えてからの林道経由は、今年度中は工事のため『全面交通止』になります。

霧谷処分場は、一般廃棄物の最終処分場です。ごみの分別(資源物)を徹底し、可燃物や産業廃棄物は絶対に持ち込みをしないでください。

問い合わせ先 十日町地域衛生施設組合(☎52-3924)

新潟スタジアム管理事務所が

開設されました

新潟スタジアムは、4月29日に行われる「21世紀記念事業」をかわきりに、2002年6月に予定されているワールドカップサッカー大会のビッグイベントの開催をはじめとして、県民の皆様が親しまれる施設としてご利用いただけることを願っています。

◆見学の利用について

①5月2日(水)から自由見学開始(予約不要) 午前9時30分～午後4時

②5月9日から案内付見学開始(要予約、原則として10人以上団体が対象、1日4回、火・金曜実施)

※詳しくは、管理事務所庶務課(☎025-287-8811)へ。また、県ホームページでもご案内しています。

◆大会、イベントなどの利用予約窓口については、土木部都市局都市政策課(☎025-285-5511(内線3326・3335)へ。

新潟県立生涯学習センター

●とき 5月25日(金)

午前10時30分～

●内容 「おもてなし弁当」

●ところ 東北電力榊十日町営業所クッキングスタジオ「えぶろん」

新潟ふるさと学(前期講座)

●とき 6月16日(土)・23日(土)・30日(土) 午後2時～

●ところ 小千谷市民会館

●講師 新潟大学 田村 裕氏

●内容 「中世越後の世界」

●申し込み 公民館などにある申し込み用紙により、6月8日(金)までにお申し込みください。

※詳しくは、新潟県立生涯学習推進センター☎025-284-6110へ。

ジャンボカボチャコンテストに

チャレンジしませんか

11月3日に、白倉交流センターキャンパス白倉(旧白倉小学校)で実施される白倉自慢会に、あなたもジャンボカボチャを出品しませんか？豪華賞品もありますので、奮ってご参加ください。

なお、先着50人の方に無料で苗をお分けしますので、ご希望の方は5月15日(火)までに次のところまでご連絡ください。

◎連絡先 小白倉 田中 英己(☎69-2559)

●定員 18人(申し込み者多数の場合抽選)

●参加費 一、〇〇〇円

●持ち物 エプロン

※申し込みは、東北電力榊十日町営業所お客さまセンター(☎52-3107)へ。

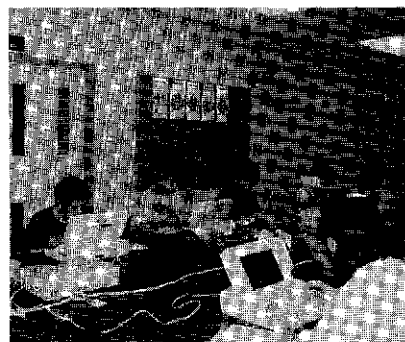
生涯学習だより②

「人材バンク事業のご利用を」

近年、町民の皆さんの学習に対する要求や関心は、ますます多様化されてきています。それらの要求を満たすために、特技・知識をお持ちの方々から「生涯学習人材バンク」に指導者として登録をいただきました。登録者は現在八十人ほどで、派遣先である小・中学校などでは大変喜ばれています。

指導者の皆さんは、公民館講座などで取得した技術や、いままで経験されてきた知識を子供たちに伝える、いわば地域への還元者として活動していただいています。派遣は、子供だけでなく一般の方々で5人以上仲間がまとまれば、学習したい内容にふさわしい指導者を紹介します。

身近なことから学習してみたいかがでしょうか。



初級ワープロ教室のようす

「女性セミナーのご案内」

▼とき 5月17日(木) 午後7時30分
▼ところ 総合体育館
▼内容 「肌の老化をふせぐには」
▼講師 美容部員 田中レイ子氏

▼とき 6月12日(金) 午後7時30分
▼ところ 総合センター
▼内容 「自立した老後を生きるには」
▼講師 十日町服飾専門学校 田村恭子氏

▼とき 7月8日(日) 午後1時30分
▼ところ 総合センター
▼内容 「郷土料理をとおして食文化を考える」
▼講師 郷土料理研究会
▼とき 8月上旬 午後7時30分
▼ところ 総合センター
▼内容 「女性で元気な農村づくり」
▼講師 町職員

▼とき 10月上旬 午後7時30分
▼ところ 総合センター
▼内容 「女性の社会参画を考える」
▼講師 議会議員

人材バンク、女性セミナーの申し込みは、教育委員会生涯学習課へ。
☎68-2167

「地域検討会議」で 話し合いました



▲地域検討会議の様子

大地の芸術祭「越後妻有アートトリエンナーレ2000」が閉幕して半年、さまざまな評価がされていますが、早くも2003年の開幕に向けて住民有志の方々に集まっていただき、検討会を開催しました。

これは、昨年の反省点として「行政主導で物事が決定され、住民の意見が反映されていない」という多くの方々からのご意見をもとに、第2回の芸術祭はより多くの住民の方々から積極的に企画作りに参画してもらいたいということで、里創プラン推進協議会で広く参加を呼びかけ「地域検討会議」という名で開催しました。

圏域の住民をはじめ、近隣市町村や新潟市、上越市などの方からも参加していただき、総勢70人以上の方々と総合コーディネーターの北川フラム氏で熱い議論をいただいています。

地域検討会は全部で4回開催され、いろいろなアイデアを出していただきました。ここでまとめられた具体的な提案を生かしながら、今後の企画実施を進めていきます。

地域検討会以外でも、郵送やEメール(t-kouiki@mail.tiara.or.jp)などで、より多くの方々からご意見をお寄せいただき、第2回の大地の芸術祭を成功させたいと考えています。

里創プラン 通信

20



内容は全作品の写真などとワークショップやセミナーなどの記録、アーティストや地域住民などからのメッセージなど盛りだくさんです。変形A4サイズで全三四三ページです。
価格は税込みで五、〇四〇円。
十日町地域六市町村の書店であれば、発売元の「現代企画室」と書籍名「大地の芸術祭 妻有アートトリエンナーレ2000」を言っていたれば取り寄せることができます。

価格は税込みで五、〇四〇円。
十日町地域六市町村の書店であれば、発売元の「現代企画室」と書籍名「大地の芸術祭 妻有アートトリエンナーレ2000」を言っていたれば取り寄せることができます。

大地の芸術祭の記録集を発刊
昨年七月二十日から九月十日まで開催された大地の芸術祭の記録集「大地の芸術祭 妻有アートトリエンナーレ2000」が販売されています。

大地の芸術祭が ふるさとイベント大賞受賞

昨年七月から九月にかけて開催された大地の芸術祭が、「第五回ふるさとイベント大賞」総務大臣賞を受賞しました。

これは、全国日刊紙五十八紙と財団法人地域活性化センターが主催しているもので、数ある地域づくり表彰の中でも最も権威ある賞といわれています。

四月十六日(月)に、東京都内で授賞式があり、大地の芸術祭実行委員会を代表して本田欣二郎十日町市長が出席しました。

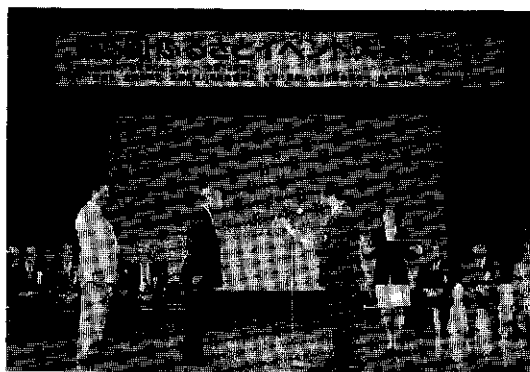
今回は、昨年開催されたイベントの中から、全国の都道府県などから推薦された百八十三点が審査の対象となり、この中から、大地の芸術祭が最高賞の総務大臣賞に輝いたもので、新潟県内では初めての受賞となります。

大地の芸術祭は、自然に囲まれた地域特性を生かしながら、アートを切り口として地域の魅力を引き出したことや、約八百人のボランティア組織「こへび隊」が活動するなど、イベントの多様性と可能性を示すモデルとして高い評価を受けました。

選考委員長で環境デザイナーの

泉真也さんは「地域がダイレクトに世界と交流する未来型のイベントであり、行政、個人、ボランティアなどの協働が好ましく、今後継続してほしい。」と講評しました。

これまで、世界でこれほどの規模で野外芸術祭が開催されたのは初めてで、先例のない中で実施した国際イベントとして高く評価を受けたことは、第二回以降の大地の芸術祭の進め方にも大きな弾みがつきそうです。



片山総務大臣から表彰を受ける本
田十日町市長と北川フラムさん

善意

(敬称略)

福祉に

南雲 正夫(中仙田) 三万円
南雲 洋一(寺尾) 五万円

訂正します

四月十日号本紙「戸籍の窓から昇天—ごめい福を祈る」欄の星名一正さんの年齢「87」が「73」に、また、「消防功労者表彰を受賞」された清水善三さんの年齢「70」が「60」に誤っていました。
訂正してお詫びいたします。

いづくしよぜの

春が来た。
三月十日に二七八cmの最高積雪となった雪が、約一か月半かけて水になった。
待ちかねたように、梅も桜も一斉に花ほころび、ブナの芽吹きを合図に山々が目覚めていく...。
四季の移ろいを超えるこの劇的な変化は、雪国、それも豪雪地でなければ味わえない春の爆発力だ。
何十回経験しても、この感動は毎年新鮮で色あせない。
山菜、まつり、農作業、森林浴音楽浴：五感をフル動員して楽しむメニューも、てんこ盛りだ。
おらほの春はいい。



かわし俳壇

高崎正風選

春耕や武州の藍の野良耕
藍蔵の扉開かれ花の風
撫若葉寺領の句碑に風渡る
足立区 涌井ハル子
日溜りの中に輝き福寿草
雨上る木々の葉光り初燕
田中町 石澤 澄代
山ひだにはりつくごとく独活芽掘る
対岸の鰯の中の機の時
山野田 藤田ひろ志
真青の空に富士浮く木の芽かな
生き甲斐の野菜作りや下明ゆる
八王子市 松浦 サク
白梅の香に澄む朝の心かな
人日や紅き椿に雨上る
元町 田畑 吉治
大雪の妻有の里も花便り
豪雪に花の大きな枝折られ
雪割れば草の息吹きあきらかに
綱引きに負けし如くに風邪移る
元町 金子 鉄平
かすかなる風にも吹雪く桜かな
石楠花の大輪三つ写真撮る
綾瀬市 野沢ますえ
昨日より今日の深さに春の山
雪解けや狭きより出す耕転機
新町新田 若山 向山
畔を焼く火頭見えぬ日和かな
若葉山三十五戸の村包む
小白倉 田中 優美
寺が見え学校が見え山桜
草引いて農も捨てざる老ばかり
練馬区 須藤 遊人
種蒔の日和よき日や農初め
草の芽を濡らして雨のこまやかに
大倉 中条 石平
嫩洗う束子もすでに夕陽
ほどほどに生きて春眠許されよ
上町 高橋 願似
花散って出店の主大あくび
児の手より蜘蛛のつるんと逃げゆきし
畑打てば何作ると人の問う
野草の芽雑草の芽もういういし
小白倉 江口みゆき
豊作を念じ今年の種類おろす
花の雨水輪重さなり流れけり
岩瀬 登坂伊智子
寸感正風
・春耕や—武州(武蔵)の藍染めの野良着—いかにもきつりと、すがすがしいでだが想像される。
・雪解けや—越冬のものを仕舞い込んで手狭となっている納屋から出す耕運機—雪の消えた喜びと、これからの農繁期への気構えが伝わってくる。
・豪雪に—大雪によって大切な桜を折られてしまった作者の「やはいやはい」という声が聞こえてくる。

休日救急医

5月13日 本町クリニック(本町)
☎50-1160
20日 川西町診療所(高原田)
☎68-2034
" 上村病院(中里村)
☎63-2111
27日 大坪医院(四日町新田)
☎57-6100
6月 3日 小林内科医院(中条中町)
☎52-7155
10日 山口医院(袋町)
☎52-2174
" 津南病院(津南町)
☎65-3161

骨粗しょう症について③ 運動で骨粗しょう症を予防しよう

骨粗しょう症の予防には、前回の食事、特にカルシウムを積極的に摂ることが一番ですが、それと並んで運動も大切な予防の柱と言われます。骨は適度な運動によって、刺激を受けると、骨の形成が盛んになります。例えば、運動すること、骨に小さな傷ができ、そこにカルシウムがかさぶたのようにつくついて骨が強くなる。そんな風にイメージしてもらっても良いかと思います。このようにして、カルシウムが蓄積され、丈夫な骨になるのです。運動する人とならない人では、骨の密度に大きな差がつかます。
骨粗しょう症予防のための運動には、肺や心臓などの循環器系の機能をよくするための運動とは違うので、激しいスポーツは必要ありません。骨粗しょう症予防には、骨に重力をかける運動が適しています。まずは初歩的にウォーキングなど、平らなところを歩くこと。足に体重がよくかかるように、大股で歩くことがポイントです。更に、階段の登り降り、リュックに荷物を入れて背負って歩く、テニス、バレーボール、縄跳びなど重力的にかかるスポーツで体を動かすことを助けます。



戸籍の窓から

たかきこーご円満に

(星名 隆夫 発電所通り西)

(滋野 恵美子 野口)

(小林 幹夫 元町)

(風間 知子 見附市)

(田中 直哉 小白倉)

(田中 美雪 小千谷市)

(樋口 幸代 発電所通り東)

(丸山 道弘 高野田)

(村越 智美 野口)

昇天ーごめい福を祈る

(小川 幸浩 36 (正治) 上野)

(野沢 敏夫 50 (本人) 野口)

(高橋 ヒデ 72 (本人) あかね園)

太田 タイ 74 (重敏) 寺尾

南雲 徳吉 76 (本人) 四郎兼

佐藤 林治 77 (本人) 小脇

和久井イセ 78 (本人) あかね園

水落 静子 79 (牧男) 仁田

小海 ふさ 79 (道弘) 寺尾

うぶ声ーおすこやかに

高橋 太陽 剛志 中屋敷

上村 由唯 美紀 上野

丸山 菜子 典晴 男根 深

高橋 ひなた 貴美 田中町

高橋 太陽 貴美 田中町

佐藤 太一 栄友 秋立

(4月1日ー30日届け出分)

千年の森コンサート

二六公園野外ステージ
(雨天..川西中学校体育館)

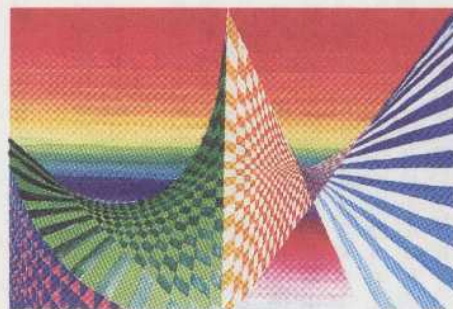


5月27日(日) 13:00 開場 14:00 開演

■お問い合わせ ☎0257-68-3111 (川西町観光協会)



▲「飲む牛乳 ボーン強化」
2年生 内山雅隆 くん



▲「線による構成」
3年生 星名絵里子 さん



▲「二点透視による構成」
3年生 村山裕美 さん



▲「酸性雨のこと考えて…」
2年生 平野実穂子 さん



▲「一点透視による構成」
3年生 藤巻佳織 さん



▲「残そう この風景」
2年生 小川翔子 さん



▲「とりもどそう 青い空」
2年生 登坂泰子 さん

ちいさな展覧会

149

川西中学校

(6月号は千手小学校です)